

1. 科目名 (単位数)	高齢者保健福祉特論 (2単位)	池袋・名古屋	3. 科目番号	SSMP5312
2. 授業担当教員	金 貞任			
4. 授業形態	発表、レポート提出等		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		履修形態 (通信教育)	R
7. 講義概要	<p>東アジアでは、今後も少子・高齢化により総人口が減少することが予想されており、高齢者に対する介護保険制度、公的年金制度、医療保険制度などの予算の確保と介護人材などのマンパワーの維持は急務である。日本では、高齢者の介護の社会化を目指し介護保険制度が2000年に実施されたが、団塊世代全員が2025年に後期高齢者となり、介護と医療を必要とする高齢者が急増することが予測されており、国や地方自治体の財政負担の増大、認知症高齢者への対応、介護事業の適正化、介護人材不足などの問題が山積している。その反面、健康な高齢者と高齢者の労働市場への参加も増加しているなど明るい側面もある。</p> <p>本講座では、日本の高齢者が直面している諸状況に着目し、隣国の東アジア諸国と福祉先進国のヨーロッパの高齢者の保健福祉制度・施策の特徴と課題を導き出すことができるように努める。その際には、高齢者に関連する諸制度の現状と問題点に着目し、高齢者福祉領域のエビデンス形成に至るための仮説の検証と評価研究が可能になるように学習する。</p>			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本の高齢者の現状と特性について、東アジア・ヨーロッパと比較しながら現状と問題点を把握する。</li> <li>2. 高齢者の関連する医療・介護・年金制度について吟味する。</li> <li>3. 日・韓・ドイツの介護保険制度の比較により、今後の望ましい介護政策を描く。</li> <li>4. 介護が必要な要介護高齢者が好む場所で住み続けるために、地域包括ケアシステムのあり方を検証する。</li> <li>5. 高齢者に関連する先行研究の購読により、批判的に分析する力を身につける。</li> </ol>			
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	シラバス「14 学習の展開及び内容」の各テーマを参照。			
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 増田雅暢編『世界の介護保障』法律文化社、2014</p> <p>【参考文献】 増田正信・金貞任『アジアの社会保障』法律出版社、2015 金貞任『高齢社会と家族介護の変容—韓国・日本の比較研究』法政大学出版局、2005 *適宜授業中にプリントなどを配布する (高齢者、要介護高齢者と家族に関連する学会雑誌の論文) 日本老年社会学会『老年社会科学』2010～2018年度 (学会雑誌) 社会福祉学会雑誌、福祉学会雑誌、家族社会福祉学会雑誌等 辻由希『家族主義福祉レジームの再編とジェンダー政治』ミネルヴァ書房 佐藤・尾嶋編『現代の社会階層 格差と多様性』1、東京大学出版会 社会福祉学会『社会福祉学』2010～2016 (学会雑誌) 平岡公一『イギリスの社会福祉と政策研究』ミネルヴァ書房 大沢真理編 竹中恵美子監修『福祉国家とジェンダー』明石書店 森川美絵『介護はいかにして労働となったのか』ミネルヴァ書房 Daly, M. Care Work: The Quest for Security. International Labor Office Bond, J. and Coleman, P. Ageing in Society. Sage. Noelker, L.S. and Harel, Z. Linking Quality of Long-Term Care and Quality of Life. Springer Publishing Company.</p>			
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジュメ作成と発表</li> <li>・授業内容の理解程度</li> </ul> <p>○評定の方法</p> <p>レポート・発表 70% 学期末レポート 30%</p>			
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者が直面する状況と若年世代と高齢世代が共に満足する妥協策とは何かについて考える。</li> <li>2. 学術雑誌を積極的に購読し、批判する力を身につける。</li> <li>3. 社会保障と高齢者に関するリサーチは相伴うものであり、両者のバランスが取れるようにすることが重要である。</li> </ol>			
13. オフィスアワー	別途通知する			
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】				
1-2. テーマ	シラバス説明、ドイツの介護保障			
【学習の目標】	ドイツの介護保障システムの歴史と現状について学習する。			
【学習の内容】	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者介護政策の歴史について学習する。</li> <li>2. 高齢者介護保障システムの構造について把握する。</li> <li>3. 高齢者システムの課題と今後の方向性について学習する。</li> </ol>			
【キーワード】	ドイツ 介護政策 介護保障システム			
【学習の課題】	学習の内容の1～3について、本章のオリジナリティと問題点を発見する。			
【参考文献】	教科書と参考文献			
【学習する上での留意点】	ドイツと日本の介護保険制度の共通点と差異に注目しながら整理することが重要である。			
3-4. テーマ	台湾・シンガポール・中国の介護保障			
【学習の目標】	台湾・シンガポール・中国の介護保障システムの歴史と現状について学習する。			
【学習の内容】	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者介護政策の歴史について学習する。</li> <li>2. 高齢者介護保障システムの構造について把握する。</li> <li>3. 高齢者システムの課題と今後の方向性について学習する。</li> </ol>			
【キーワード】	台湾 シンガポール 中国 介護政策 介護保障システム			
【学習の課題】	学習の内容の1～3について、本章のオリジナリティと問題点を発見する。			
【参考文献】	教科書と参考文献			
【学習する上での留意点】	ドイツと日本の介護保険制度の共通点と差異に注目しながら整理することが重要である。			

5-6. テーマ	韓国・イギリスの介護保障
【学習の目標】	韓国の介護保障システムの歴史と現状について学習する。
【学習の内容】	1. 高齢者介護政策の歴史について学習する。 2. 高齢者介護保障システムの構造について把握する。 3. 高齢者システムの課題と今後の方向性について学習する。
【キーワード】	韓国 イギリス 介護政策 介護保障システム
【学習の課題】	学習の内容の1～3について、本章のオリジナリティと問題点を発見する。
【参考文献】	教科書と参考文献
【学習する上での留意点】	韓国と日本の介護保険制度の共通点と差異に注目しながら整理することが重要である。
7-8. テーマ	日本の介護保障 (or 外部講師による授業；生活の質)、介護保険制度の DVD
【学習の目標】	日本の介護保障システムの歴史と現状について学習する。 介護保険制度の現状と問題点について分析する。
【学習の内容】	1. 高齢者介護政策の歴史について学習する。 2. 介護の社会化と高齢者介護保障システムの構造について把握する。 3. 高齢者システムの課題と今後の方向性について学習する。
【キーワード】	介護保険システム、介護の社会化、介護問題
【学習の課題】	学習の内容の1～3について、本章のオリジナリティと問題点を発見する。
【参考文献】	教科書と参考文献
【学習する上での留意点】	ドイツ・日本の介護保険制度の共通点と差異に着目し、分析することが重要である。
9-10. テーマ	高齢社会と家族介護、受講生による研究発表
【学習の目標】	高齢社会と家族介護の状況について理解し、各自の研究テーマを吟味する。
【学習の内容】	1. 研究の社会的背景と目的について、各自の研究テーマと比較しながら理解する。 2. 調査研究の方法について理解し、自分はどういう方法で修士論文を作成したいかを考える。 3. 分析の枠組と仮説の設定について理解し、ジェンダーの観点から分析する力を身につける。
【キーワード】	高齢社会、家族介護、分析の枠組、仮説、ジェンダー
【学習の課題】	学習内容の1～3について、各自の修士論文のテーマに基づき作成する。
【参考文献】	教科書と参考文献
【学習する上での留意点】	各自の修士論文の問題意識と目的について構想してみる。
11-12. テーマ	家族介護者の負担感、高齢者の虐待
【学習の目標】	家族介護者の負担感の規定要因とは何かについて吟味する。 高齢者の虐待の原因と解決策を探る。
【学習の内容】	1. 研究の目的について理解する。 2. 分析で用いるデータと変数について理解する。 3. 家族介護者の介護負担感の現状と規定要因とは何かについて吟味する。 4. 高齢者の虐待の原因と解決策とは何かについてリサーチする。
【キーワード】	介護負担感、要介護高齢者、高齢者の虐待
【学習の課題】	学習内容の1～4について、各自の修士論文のテーマに適用させながら要約する。
【参考文献】	教科書と参考文献
【学習する上での留意点】	各自の修士論文のテーマの目的や研究方法等と比較しながら学習することが重要である。
13. テーマ	家族ライフスタイルの展開とそのアプローチ
【学習の目標】	家族ライフスタイルの展開とそのアプローチについて学習する。
【学習の内容】	1. 家族ライフスタイル論の概念と理論的背景について理解する。 2. 家族ライフスタイルの合意形成の過程について批判的に検討する。 3. ライフスタイル論的アプローチの事例について学習する。
【キーワード】	家制度、家族ライフスタイル、アプローチ
【学習の課題】	学習内容の1～3について、問題点を発見し、ノートを整理する。
【参考文献】	教科書と参考文献
【学習する上での留意点】	各自の修士論文のテーマ、研究の方法等と比較しながら理解することが重要である。
14. テーマ	介護労働とジェンダー
【学習の目標】	介護労働とジェンダーについて学習する。
【学習の内容】	1. 介護労働市場の現状と問題点について分析する。 2. 介護の無償労働の有償労働の共通点と違いを吟味する。 3. 高齢者の介護労働をジェンダー観点から把握する。 4. 介護労働はどうあるべきかについて理解を深める。
【キーワード】	介護労働、ジェンダー、高齢者の介護の原因
【学習の課題】	学習内容の1～4について、問題点を発見し、ノートを整理する。
【参考文献】	教科書と参考文献
【学習する上での留意点】	各自の修士論文のテーマ、研究の方法等と比較しながら理解することが重要である。
15. テーマ	レポート提出、研究発表
【学習の目標】	高齢者に関連するサポートを作成と発表、レポートを提出する。
【学習の内容】	1. 論文の仕組みについて理解する。 2. 先行研究とは何かについて理解する。 3. 研究のオリジナリティとは何かについて学習する。
【キーワード】	論文の仕組み、先行研究、オリジナリティ
【学習の課題】	学習内容の1～3を含めたレポートを作成する。
【参考文献】	教科書と参考文献
【学習する上での留意点】	各自の修士論文の背景と目的、研究の方法等と比較しながらレポートを作成することが重要である。